

『第9回同窓会主催学生向け講演会』の報告

医学科同窓会会計 平 良 民 子 (10期生)

(西崎病院 内科)



講師 小林 潤 先生

日 時：平成25年 5月29日 (水) 18時～

場 所：琉球大学医学部臨床講義棟 2階 大講義室

演 題：『国際保健のパラダイムシフト：

グローバリゼーションのなかで見てきたもの』

講 師：小 林 潤 先生 (4期生)

琉球大学保健学科 国際地域保健学分野 教授

＜演者 略歴＞

1990年 3月 琉球大学医学部医学科卒業 (4期卒)

1990年 4月 琉球大学医学部医学科 寄生虫学 助手

2000年 4月 琉球大学医学部医学科 寄生虫学 助教授

2001年12月 国立国際医療研究センター国際医療協力部 派遣協力課医師

2011年 5月 長崎大学大学院 国際健康開発研究科 准教授

2013年 4月 琉球大学医学部保健学科 国際地域保健学 教授

主な国際協力活動と役職・受賞

1992年 5月 1994年 4月 JICAブラジル国カンピーナス大学消化器病診断・研究センタープロジェクト(寄生虫専門家)

1995年10月-1998年 9月 JICAラオス国公衆衛生プロジェクト (寄生虫対策専門)

1999年 5月 ラオス国労働功労賞勲 3等 (マラリア対策への貢献が評価)

1999年 5月-2001年 9月 ラオス国保健省・マラリア寄生虫昆虫研究所 (JICAマラリア対策アドバイザー)

2002年 7月-2008年 3月 タイ国・マヒドン大学熱帯医学部(国際寄生虫対策アドバイザー)、東南アジア、西アフリカの学校保健普及に従事

2008年 4月 NGO メタオクリニック支援の会 (JAM) 結成 代表

2010年11月 Partnership for Child Development (PCD, UK, Imperial College) テクニカル・アドバイザーに就任

2011年 4月 国際学校保健コンソーシアム (JC-GSHR) 結成 理事長

2011年 9月 タイ国マヒドン大学熱帯医学部コンサルタントに就任 (学校保健)

同年・東南アジア学校保健栄養研修をマヒドン大学・イギリス国PCDと連携して立ち上げ年一回開催。

2013年 3月 大山健康財団より激励賞受賞 (橋本イニシアチブ事業による学校保健の国際的普及、ラオスでの保健研究人材育成および保健関連事業、ビルマ難民保健医療支援等の総合的活動が評価)

今年も同窓会主催学生会員向け講演会を行いました。講師は、同窓生の4期卒業生で、本年4月より保健学科国際地域保健学教授に就任されました小林潤先生です。小林先生は卒業後、琉大寄生虫学教室を経て国際保健の専門家として世界的に活躍し、母校の琉大に戻ってこられました(略歴)。

表題を読んで講演の内容を連想できる方は少ないのではないのでしょうか？私も全くイメージがわからないまま学生時代以来はじめて国際保健について拝聴しました。講演が始まるとすぐ、先生の巧みな話術と熱意で、小林ワールドに引き込まれていきました。

援助、貧困救済、ガバナンス、Internathional HealthからGrobal Health、隠された課題、リバタ

リアンのチェーン、という小テーマの順に話がすすみました。その内容の一部を紹介します。

●援助はなぜするのか？

2011年、3月11日、東日本大震災。未曾有の大災害で自国内が大変な状況である時に、国立国際医療研究センター国際医療協力部に所属されていた小林先生。日本の支援をすべきか、開発途上国の支援を続行すべきか。あなたならどうしますか？

●コミュニタリアンとリバタリアンとは？

コミュニタリアンは自分のコミュニティーを優先して支援しようと考え、リバタリアンは日本も海外も公正に支援を行うと考える。さて、あなたはどちらですか？どちらが正解ということはない。インフラだけでなくインターネット、SNSが発達し、